

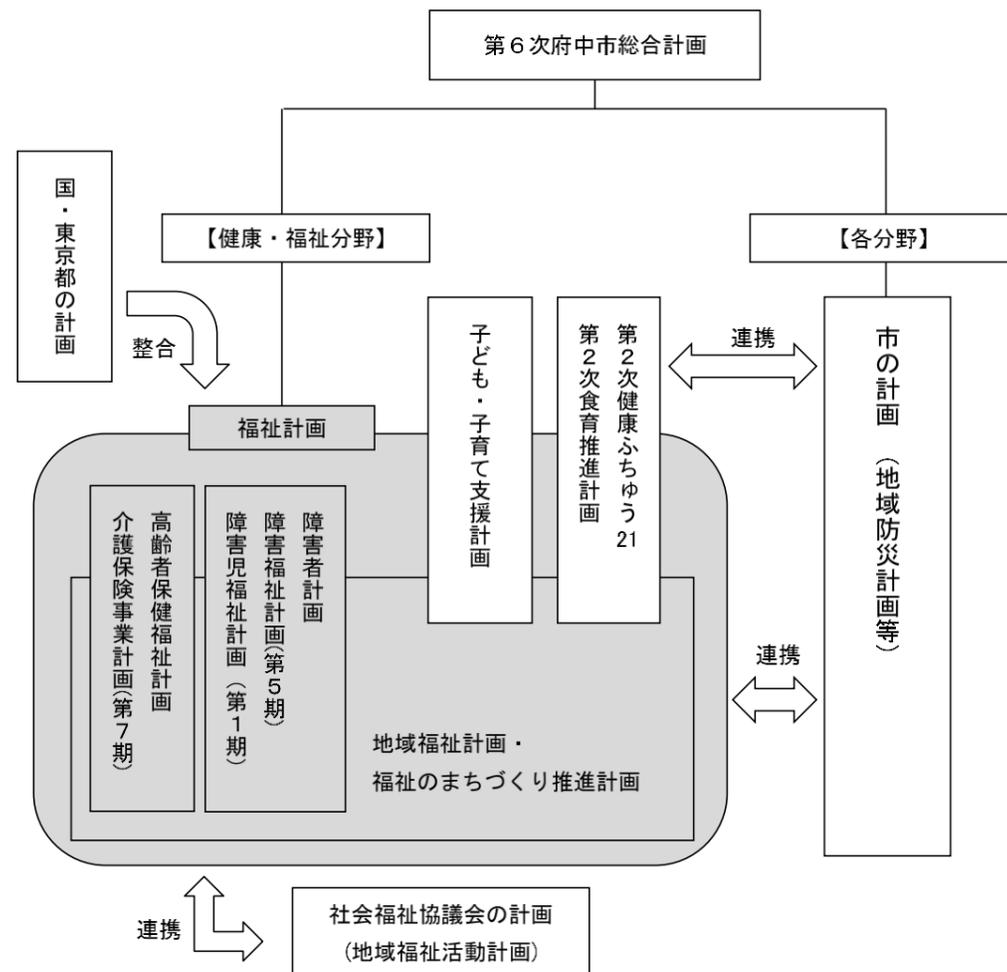
次期福祉計画の基本理念及び基本視点（案）について

1 府中市福祉計画の位置づけ（現行計画）

- 「福祉計画」は、「第6次府中市総合計画」を上位計画とする計画である。
- 「福祉計画」は、保健・福祉・医療を一体的に推進するため、地域福祉分野の「地域福祉計画」・「福祉のまちづくり推進計画」、高齢者福祉分野の「高齢者保健福祉計画」・「介護保険事業計画」、障害者福祉分野の「障害者計画」・「障害福祉計画」・「障害児福祉計画」、子育て支援分野の「子ども・子育て支援計画」、健康分野の「健康ふちゅう21（保健計画）」・「食育推進計画」を横断的につなぐ役割を担っている。
- また、福祉計画及び関連計画は、他の生活・環境分野、文化・学習分野、都市基盤・産業分野の計画とも連携した計画とするとともに、国や東京都の関連する計画と整合を図っている。
- さらに、府中市社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」との連携を図っている。

2 基本理念・基本視点の考え方

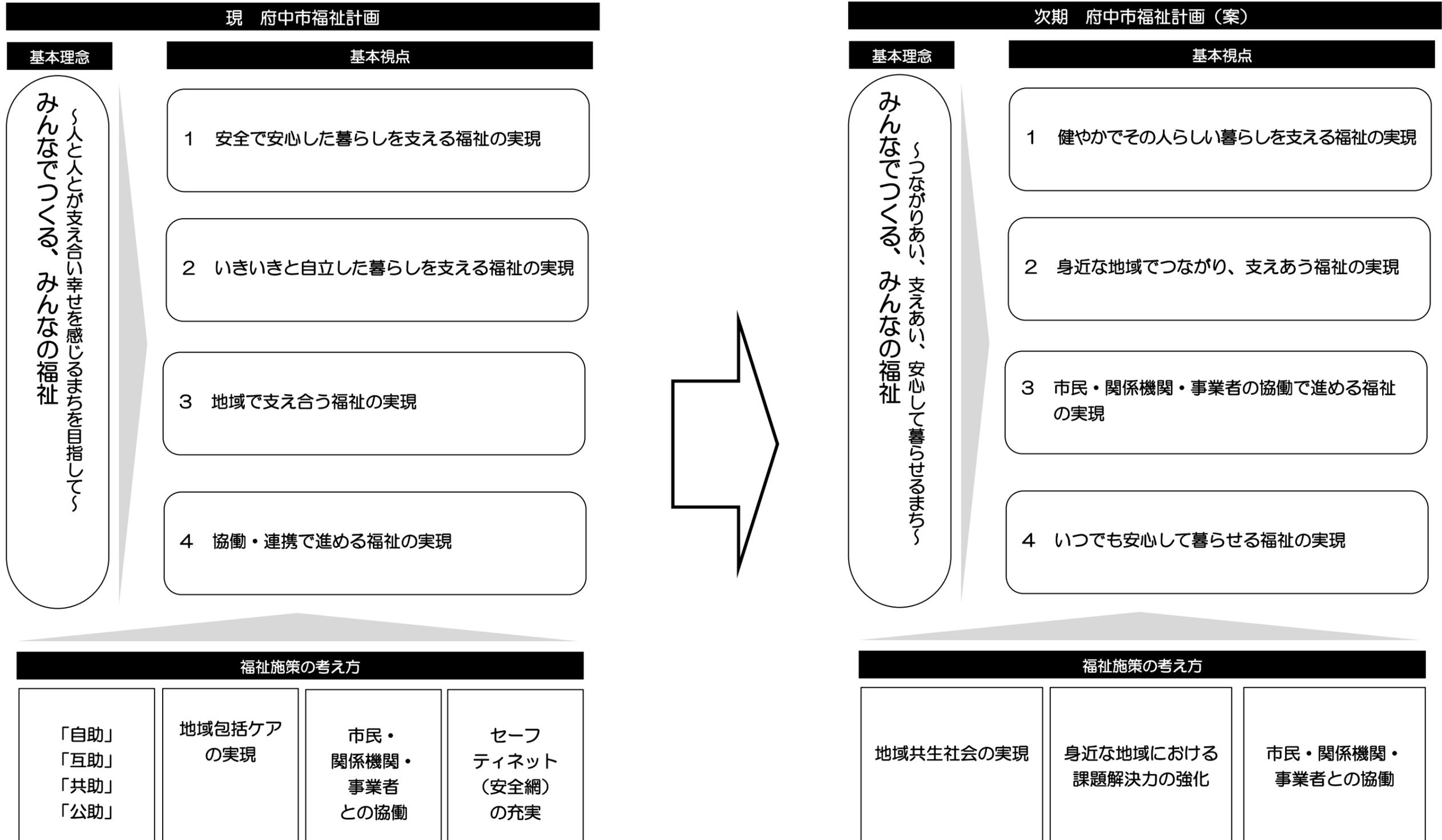
- 今回の分野横断型のグループディスカッション・グループインタビュー、各分野別計画策定のための調査からは、市民の新たな福祉ニーズの現状が確認できました。
- 分野横断型調査からは、文化センターなど身近な地域での活動の仕組みや相談ニーズ、交流ネットワーク、医療・介護・生活支援の連携、多様な主体が取組む仕組み、地域の活性化、安全なまちづくり、市民と関係機関による一体感のある取組みを望む多数の意見が出されました。
- 各分野別計画策定のための調査の結果からは、市民生活・意識や相談ニーズの変化等が明らかになり、高齢者保健福祉や介護保険の状況の変化や地域包括ケアの推進に向けた連携、障害者が暮らし続けるための切れ目ない支援の継続的な推進が必要とされていることがわかりました。また、ともに暮らすまちづくり、災害支援、家族支援、担い手の確保などの共通の課題もあげられました。
- 以上を踏まえ、上位・関連計画との整合性も考慮しながら、福祉計画の基本理念、基本視点を検討します。



3 次期福祉計画の基本理念・視点（案）

案1

平成15年に策定した福祉計画において基本理念として掲げた「みんなでつくる、みんなの福祉」を継承するとともに、増加する複合的課題や制度の狭間の課題に対応するため、更なる市民・関係機関・事業者との協働を推進し、安心して暮らせる共生社会を目指すものです。



案2

平成15年に策定した福祉計画において基本理念として掲げた「みんなでつくる、みんなの福祉」を継承するとともに、増加する複合的課題や制度の狭間の課題に対応するため、更なる市民・関係機関・事業者との協働を推進し、安心して暮らせる共生社会を目指すものです。また、現計画の「基本視点」と「福祉施策の考え方」は統合し、福祉計画の考え方として視点を伝えていきます。

